

元がったなみのその後

追跡… シリーズ



今回は、平成26年1月(No.157)号に掲載された「舟形の花嫁・お見合い大戦」で結婚した、内山の伊藤浩・恵美さんご夫婦と駿杜くん6歳です。

◆舟形町での生活や子育てはどうですか？

縁があって嫁いできてから7年の間、内山の皆様をはじめ多くの方々の温かなご協力と見守りで子育てできていくことが幸せだなくと感謝しています。

◆舟形町の良いところ・足りないと思うところは？

良いところはズバリ！町内会ごと地域伝統行事が残っているところ、スキートの授業があるところ。

足りないと思うところは、家族以外で子供たちとお年寄りの交流があまりないところや、子育てに対して世代間ギャップがあるところ。

◆舟形町に望むことはありますか？

今年からタブレットを使用しての授業が始まることですが、家庭でのタブレット授業が出来るように環境整備のサポートを望みます。

冬でも室内運動場や交流の場が近くにあればいい。特に、冬場は運動不足になりがちなので。

◆子どもへの一言

春には小学1年生となる駿杜、これからもたくさんの人達との関わりで多くのことを吸収し、たくましく成長してください。父も母も全力で応援しています。



皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いしています。

私の住む堀内地区は、人口減少や少子高齢化が進行しています。それに加え空き家も増えているのも心配しています。一人でも多くの人が舟形町に定住や移住していただくように町にも政策を考えていただきたいです。堀内は、子どもが少ないと思いますが、子どもたちが遊べる場所がありません。堀内小学校跡地に遊具のある公園などを整備していただければ、親同士の交流の場も出来、より明るい堀内地区になると思っています。さらに堀内地区に定住してくれる子どもたちが増えてくれることに期待します。今年新型コロナウイルスの影響で色々なイベントが延期や中止となりました。幸いにも舟形町からは、感染者は出ていませんが、とても不安な毎日を送っています。ワクチンのこともそうですが、子どもたちが益々希望を持てる舟形町になるように期待しています。



阿部 清美さん (洲崎)

(議会より) 未来を見据え、生涯住み続けられる町になるように議会としても努力してまいります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年はず年の暖冬がうそのような大雪となりました。毎日の除雪や屋根の雪下ろしには、十分な安全対策をし、注意して作業を行ってください。冬の訪れとともに、近隣の市町村でも感染者が増加傾向にあり、新型コロナの第3波の影が、舟形町にも押し寄せてきているように感じられます。そのような中、12月22日に県において医療緊急事態を宣言し、県医師会などが年末の帰省自粛を訴えていました。町民の皆さまも3密に注意し、新型コロナに感染しないように心がけ、令和3年は、新型コロナを克服し、より良い年になるようご祈念申し上げます。(小国 浩文 記)

発行責任者

- 議長 八 欽 太
 議会広報常任委員会
 委員長 伊藤 欽 一
 副委員長 小国 浩 文
 委員 石山 和 春
 委員 荒澤 和 光
 委員 叶 内 昌 樹



議会だより ふながた

発行 舟形町議会
 編集 議会広報常任委員会

〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地
 電話(0233)32-2111(代表)